

関 連 資 料

1 通級指導学級の教育目標

- ・言語に障害のある児童が、生活及び学習上の問題を主体的に改善するために必要な知識・技能、態度及びコミュニケーション能力を育てる。
- ・言語の障害が児童のもてる資質として受容され、二次的問題を起こさないように環境調整を含めた指導を行う。

2 教育目標を達成するための基本方針

- ・言語力、情緒など、児童の全体的な発達を適切に理解して指導する。
- ・一人一人の児童の学習や生活における実態を把握して、個別指導計画を作成し、ケース会議によりその指導内容を適宜検討する。
- ・在籍校との情報交換を密に行い、連携を深め、指導内容の共通理解を図る。
- ・保護者と個別に面談を行い、家庭の協力を得て指導内容の共通理解を図る。
- ・医学、心理学、教育学の最新情報を得ると共に、専門家の指導助言を求め、的確な教育的診断を行い、指導の効果を高める。

3 指導の重点

- ・構音の誤り、吃音、言語発達の遅れ、その他児童の実態に応じた指導を行い、コミュニケーション能力を育てる。
- ・言語発達の基礎となる情緒の安定に配慮した指導を行う。

4 その他の配慮事項

- ・在籍校、関係機関との情報交換を行い、相互の指導内容の理解を深め合う。
- ・通級途上の安全と指導内容の共通理解を図るため、保護者による児童の付き添いを原則とする。

5 編 制

(1) 通級指導学級数 (2) (2) 担当教員数 (3)

(3) 児童・生徒数

男女別	学年	小 学 校						計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	
小 計	男	1	8	4	0	1	3	17
	女	1	1	2	3	3	0	10
合 計		2	9	6	3	4	3	27

※週1日未満の児童数・生徒数は、()内に内数として記入する。